

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	特別養護老人ホーム整備支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別養護老人ホーム入所希望待機者	意図	特別養護老人ホーム入所希望待機者の解消。
事業内容	新規特別養護老人ホーム運営事業者の公募及び選定、県との協議等。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和58年5月 初石苑開設(50床)／昭和62年4月 リバーパレス流山開設(100床)／平成11年4月 あざみ苑開設(108床)／平成17年11月 はまなす苑開設(60床)／平成23年4月 流山こまぎ安心館開設(100床)／平成25年2月 月の船開設(100床)／平成27年5月 美晴らしの里開設(100床)／平成28年5月 でいご開設(100床)／平成30年4月 花のいろ (100床)／平成32年4月 慶櫻美原の森 (100床) 開設予定			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	特別養護老人ホーム入所希望待機者数	313	292	293	人	↓↓↓	(各年度 1月1日現在数値)
②	市内特養箇所数	7	8	8	箇所	↑↑↑	(広域型のみ)	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 特別養護老人ホームの入所希望待機者数はほぼ横ばいとなっている。 平成30年4月1日に花のいろ（100床）が開設し、入所希望待機者数の減少が見込まれる。 平成32年4月にさらに100床の整備が予定されている（慶櫻美原の森、公募済）。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		75,300	68,650	402,720				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.06				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	第7期介護保険事業計画策定に向け、特別養護老人ホーム整備の位置付けの必要性について、ユニット型と多床室の併設施設を含めて検討し、必要に応じて公募を行う。	③取組の課題	人口の増加及び高齢者数の増加並びに待機者数の動向を見極め、第8期介護保険事業計画策定において必要な施設整備について検討する必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	第7期介護保険事業計画策定に合わせて、特養整備の必要性について検討し、新規施設の公募を行うとともに、老朽化施設の廃止、及び増床について計画に位置づけた。	④今後(H30以降)の改善計画	人口の増加及び高齢者数の増加並びに待機者数の動向を見極め、第8期介護保険事業計画策定において必要な施設整備について検討する。